



平成24年12月26日

各 位

会 社 名 株式会社 銀座山形屋  
代 表 社 名 代表取締役社長 山形 政弘  
( J A S D A Q コード番号 8 2 1 5 )  
問 合 せ 先  
役職・氏名 管理部長 渡辺 光潤  
電 話 03-6680-8711

(再訂正)「平成23年3月期 第1四半期決算短信」の一部訂正について

平成24年11月14日に発表いたしました「(訂正)平成23年3月期 第1四半期決算短信の一部訂正について」の記載内に一部再訂正がありましたのでお知らせいたします。

なお、訂正箇所につきましては、    下線を付しております。

訂正理由については、平成24年12月26日開示の「過年度有価証券報告書、過年度決算短信等の一部再訂正に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、数値データにつきましては訂正はございません。

以 上

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (5) セグメント情報

##### 【訂正前】(8ページ)

##### 〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社グループは、衣料品製造販売(受託縫製を含む)事業を主な事業としておりますが、当セグメントの売上高及び営業損失の金額が、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の合計の90%を超えておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

##### 〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

存外子会社及び存外支店はありませんので記載を省略しております。

##### 〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高はありませんので記載を省略しております。

##### 〔セグメント情報〕

#### 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、持株会社としてグループ全体の戦略を担い、子会社3社は「小売事業」「卸売事業」「受託縫製事業」を展開しております。

「小売事業」は、主に店舗等において紳士・婦人服、カジュアル洋品の小売販売を行っております。「卸売事業」は、主に紳士・婦人服の卸販売を行っております。「受託縫製事業」は、主に紳士・婦人服の受託縫製加工を行っております

#### 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製加工	計		
売上高						
外部顧客への売上高	619,927	370,059	168,276	1,158,263	6,350	1,164,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	504,325	504,325	△504,325	—
計	619,927	370,059	672,601	1,662,588	△497,975	1,164,613
セグメント利益	<u>△11,681</u>	<u>△35,216</u>	<u>19,968</u>	<u>△26,929</u>	<u>7,504</u>	<u>△19,425</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (5) セグメント情報

##### 【訂正後】(8ページ)

##### 〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社グループは、衣料品製造販売(受託縫製を含む)事業を主な事業としておりますが、当セグメントの売上高及び営業損失の金額が、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の合計の90%を超えておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

##### 〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

存外子会社及び存外支店はありませので記載を省略しております。

##### 〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高はありませので記載を省略しております。

##### 〔セグメント情報〕

#### 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、持株会社としてグループ全体の戦略を担い、子会社3社は「小売事業」「卸売事業」「受託縫製事業」を展開しております。

「小売事業」は、主に店舗等において紳士・婦人服、カジュアル洋品の小売販売を行っております。「卸売事業」は、主に紳士・婦人服の卸販売を行っております。「受託縫製事業」は、主に紳士・婦人服の受託縫製加工を行っております

#### 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製加工	計		
売上高						
外部顧客への売上高	619,927	370,059	168,276	1,158,263	6,350	1,164,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	504,325	504,325	△504,325	—
計	619,927	370,059	672,601	1,662,588	△497,975	1,164,613
セグメント利益	<u>△11,742</u>	<u>△36,207</u>	<u>21,689</u>	<u>△26,260</u>	<u>11,596</u>	<u>△14,664</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおりませ。

### 3. 四半期連結財務諸表

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

【訂正前】(9ページ)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△26,929</u>
「その他」の区分の利益	<u>7,504</u>
セグメント間取引消去	1,427
棚卸資産の調整額	△2,861
その他の調整額	1,558
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>△19,301</u>

【訂正後】(9ページ)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△26,260</u>
「その他」の区分の利益	<u>11,596</u>
セグメント間取引消去	1,427
棚卸資産の調整額	△2,861
その他の調整額	1,558
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>△14,540</u>